

## 令和7年村上市教育委員会9月定例会会議録

### ○ 日 時

令和7年9月24日（水）午前9時30分 開会

### ○ 場 所

朝日支所2階 第1会議室

### ○ 出席委員

遠 藤 友 春	教育長
横 山 吉 夫	委員（教育長職務代理者）
大 滝 豊	委員
板 垣 英 樹	委員
小 川 涼 子	委員

### ○ 欠席委員

なし

### ○ 出席した事務局職員

学校教育課長	小 川 智 也
学校教育課 管理主事	木 村 博
〃 指導主事	只 木 雅 実
〃 指導主事	高 橋 真 徳
〃 課長補佐	百 武 靖 之
〃 教育総務室長	鈴 木 祐 輔
〃 未来の学校創造室長	中 山 晴 剛
生涯学習課長	平 山 祐 子
生涯学習課 社会教育推進室長	片 岡 昌 幸
〃 スポーツ推進室長	佐 藤 克 也
〃 スポーツ推進室主幹	菅 原 和 英
〃 文化行政推進室長	吉 井 雅 勇
〃 教育情報センター長	太 田 尚 美
村上教育事務所長	鈴 木 祐 輔
荒川教育事務所長	中 村 蘭 子
神林教育事務所長	田 村 富 夫
朝日教育事務所長	本 間 憲 一
山北教育事務所長	本 間 宏

○ 欠席した事務局職員

なし

○ 書記

学校教育課 教育総務室長 鈴木祐輔

○ 会議に付した議件等

- ・会議録署名委員の指名について
- ・8月定例会会議録の確認について
- ・報第6号 一般報告事項について
- ・議第21号 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長

午前9時30分開会宣言

遠藤教育長

ただいまより、令和7年度9月定例教育委員会を開会します。今日は、岩船小学校の校地内にある樹木伐採に関する懸案事項についてお話しさせていただきます。岩船小学校の校門前にイチョウの大木が2本そびえ立っています。2本のうち1本は、岩船小学校が創立した頃に植樹されたと思われる樹齢150年のイチョウの大木で、根が周辺の地面を盛り上げ露出根も見られ、子どもたちの歩行や教職員等の車の通行に支障をきたしています。また、下水の側溝等にも影響を与えており、幹が校舎側に傾いています。

このような現在の樹木や周辺の状況、そして将来さらに心配される樹木の状況やそれが及ぼす被害を考慮し、教育委員会は樹木医に診断を依頼し、その結果を踏まえ、2本のイチョウを伐採することを適当と判断しました。その後、イチョウの伐採について岩船地区区長会に相談し承諾を得た上で、6月13日付けの回覧で、岩船小学校保護者や岩船地区の皆様に、夏季休業中にイチョウの木2本を伐採させていただく旨をお知らせしました。

しかし、この回覧を目にされた岩船小学校卒業生の有志の方々が、7月3日、岩船小学校のシンボルツリーでもあるイチョウ伐採反対の署名を教育委員会に持参されました。教育委員会は、9月11日に再度話し合いをするために有志の方々にお集まりいただいたのですが、現時点での伐採の了解をいただくことはできませんでした。ただ、亀裂がありでこぼこの状態の道路を放置しておくことはできないという点は

一致しましたので、善後策を検討した上で再度話し合いをさせていただくこととなりました。

いずれにせよ、学校や保護者、地域には、伐採中断に至った理由等はまだお知らせしておりませんので、今後、有志の方々とともに、区長会や保護者の皆様にもお集まりいただき、これまでの経緯や今後の方向性について説明会を開催させていただく予定です。地域にとって大切なシンボルツリーの保存と、倒木の恐れや構造物に与える悪影響を勘案した上で、どう対処すべきなのかもう一度検討いたします。

詳細については、情報交換の場でお伝えしますので、皆様からもご質問やご意見をいただきたいと思っております。それでは、本日はよろしくお願ひいたします。

・会議録署名委員の指名について

遠藤教育長 それでは、会議録署名委員を指名させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

遠藤教育長 会議録署名委員は、大滝委員と小川委員にお願いします。

・8月定例会会議録の確認について

遠藤教育長 8月定例会会議録について確認します。各委員には自分の発言が漏れていないか、表現が違わないか確認していただきます。

遠藤教育長 8月定例会会議録について何かござりますか。

遠藤教育長 8月定例会会議録は確認されました。

・報第6号 一般報告事項について

遠藤教育長 報第6号について上程します。

最初に私から、一般報告事項を報告させていただきます。

8月15日、二十歳のつどい、大須戸能薪能、出席しました。18日、人権キャラバン市役所訪問がありましたので、出席しました。夜、大

阪・関西万博中学生派遣事業保護者説明会、開催しました。19日、中学生による市長表敬訪問、広島の報告会、万博の出発会を時間ずらして行いました。以上、報告させていただきました。同日、村上市文化財保存活用地域計画策定協議会、出席しました。20日、保内小学校統合検討会、わたしの主張村上・岩船大会、開催されました。26日、定例教育委員会、開催しました。31日、市防災訓練、市役所、荒川地区公民館で開催されました。9月1日、市校長会議、夜、金屋小学校統合検討会、開催されました。2日、市議会第3回定例会初日。3日、序議。6日、医療フォーラム、村上市総合文化会館で開催されました。8日、市議会第3回定例会一般質問、9日、10日と3日間開催されました。以上、報告させていただきました。

- 遠藤教育長 学校教育課長、お願いします。
- 学校教育課長 学校教育課の一般報告事項等について報告する。
- 社会教育推進室長 社会教育推進室の一般報告事項等について報告する。
- スポーツ推進室長 スポーツ推進室の一般報告事項等について報告する。
- スポーツ推進室主幹 スケートパークの一般報告事項等について報告する。
- 文化行政推進室長 文化行政推進室の一般報告事項等について報告する。
- 教育情報センター長 教育情報センターの一般報告事項等について報告する。
- 遠藤教育長 それでは学校教育課、生涯学習課の報告事項について質疑等がありましたらお願いします。
- 遠藤教育長 何かご意見ありますでしょうか。
- 大滝委員 10月28日にオープンセッションのフォローアップ研修があるのでないでしょうか？
- 学校教育課長 朝日温海道路で朝日中学校の合唱コンサート事業があるので、

日程的にあとからこの事業が入ってきた形になり、オープンセッションフォローアップ研修と時間帯的に重なってしまっています。大滝委員、小川委員には既にフォローアップ研修のご参加の連絡をいただいておりましたが、こちらの事業にご参加いただけるか今日お諮りさせていただきたいと思っていました。

朝日温海道路のトンネルを見学して、最後のトンネル内で中学生の合唱を聴くという事業になります。国土交通事務所と朝日中学校が連携して行う事業で、市長、教育長にも案内が出ておりますので、教育委員の皆さんにもご出席いただければと思っております。

大滝委員 両方出席可能でしょうか？

学校教育課長 時間的に、ちょっと。

大滝委員 無理なんですね。

学校教育課長 トンネルの見学と、その後の合唱がありますので、予定で言いますと 13 時半くらいに出発して、見学をしたり合唱を聴いたりして、戻ってくるのが 16 時くらいの予定です。

大滝委員 どちらに出た方が良いのでしょうか。

遠藤教育長 そうですね、それにつきましては、後ほど選択されてください。とにかく、両方開催されるということですね。

学校教育課長 はい。

遠藤教育長 他、よろしいでしょうか。  
(意見無し)

遠藤教育長 それでは報第 6 号の一般報告事項は了承されました。

・議第 21 号 令和 7 年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

遠藤教育長

次に、議第 21 号について上程します。説明をお願いします。

高橋指導主事

令和 7 年度全国学力学習状況調査の結果についてお話をいたします。

なおこの資料は本定例会でご承認いただいた後、村上市のホームページに掲載して公表いたします。

1、本調査の目的は三つあります。一つは、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図る。二つ目は、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。三つ目は、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立です。

2、調査対象は小学校 6 学年生と中学校 3 学年生です。

3、調査内容につきましては記載の通りです。

今年度は中学校の理科が、学習者用端末を活用したオンライン方式での実施となりました。

4、結果について報告します。今年度の村上市、新潟県、全国それぞれ各教科の結果は一番下の太枠で囲まれたものです。参考までに過去 2 年間の結果も上に示してあります。数値が質的に違うもので中学校の理科が I R T スコアという結果が出されています。こちらは異なる問題から構成される調査結果の正誤パターンから学力を推定して、500 を基準にした時の得点を市の生徒達で平均化した数値になります。

それぞれの教科の結果の内容についてです。小学校の国語ですが、平均正答率は全国を下回りました。正答数分布は、全国と比べて上位層が少なく、下位層は全国並み、学習指導要領の内容別では、知識及び技能における「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」、思考力・判断力・表現力等における「話すこと・聞くこと」「読むこと」が全国を下回りました。問題形式別では、「選択式」「短答式」「記述式」のすべてが全国を下回りました。また問題別でいきますと、ほとんどの問題で全国を下回り、特に、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかをみる問題等で課題が見られました。

続いて算数ですが、こちらも全国を下回り、上位層が少なく、下位層が多かったです。領域別でいくと、すべての領域で全国を下回り、形式別でいくと、すべての形式が全国を下回りました。問題別では、ほとんどの問題で全国を下回ったのですが、特に、はかりの目盛りを読むことができるかをみる問題等で課題が見られました。

続いて理科です。全国を下回り、上位層が少なく、下位層が多かったです、領域別もすべての領域が全国を下回った、ということです。形式別は、「選択式」と「短答式」で全国を下回り、「記述式」は全国を上

回った、という結果です。問題別は、ほとんどの問題で全国を下回りましたが、特に、直列つなぎに関する知識が身についているかを見る問題等々で課題が見られました。

中学校の国語も全国を下回り、上位層が少なく、下位層が多い、という結果となっています。領域別では、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等とともに全国を下回っておりましたが、特に「話すこと・聞くこと」「読むこと」に全国との大きな差が見られました。問題形式はすべてが全国を下回りました。問題別もすべての問題が全国を下回っており、特に自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫することができるかを見る問題等で課題が見られています。すべての問題で無答率が全国を上回っており、その中でも「記述式」が高い傾向にありました。

続いて数学です。全国を下回り、上位層が少なく、下位層が多かったです。領域別では、すべての領域が全国を下回ったのですが、その中でも「図形」が全国との大きな差がみられました。形式別でも全国を下回りましたが、特に「短答式」「記述式」で全校との大きな差が見られました。問題別では、やはりすべての問題で全国を下回ったのですが、特に、式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかを見る問題等に課題が見られました。こちらもすべての問題で無答率が全国よりも高く、その中でも「記述式」が高い傾向にありました。

続いて理科です。全国を下回り、やはり上位層が少なく、下位層が多かったです。問題別では、実験の様子と、密度に関する知識及び技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈できるかを見る問題等で課題が見られました。なお、中学校理科は先ほど申し上げたオンライン方式による実施で、生徒間あるいは学校間によって実施日、設問が異なっているため、領域別、問題形式別の全体的な結果は提供されていません。

これらの結果から、課題1として、資質・能力を確実に育成するための授業改善が必要であると考えています。

(2) 学校別平均正答率です。資料を参考にしていただければと思います。小学校の国語の全国平均正答率を上回ったのが、13校中6校でした。最大学校間差は23ポイントでした。算数の方が、上回ったのが13校中3校でした。最大学校間差が32ポイントでした。理科、上回ったのが13校中5校でした。最大学校間差は23ポイントでした。

続いて中学校の国語が上回ったのが、7校中2校でした。最大学校間差は15ポイントでした。数学が上回ったのが、7校中1校でした。

最大学校間差は 30 ポイントでした。理科の方が平均 I R T スコアですが、全国を上回った学校はなく、全く同じ値だった学校が 1 校、最大学校間差は 60 ポイントでした。これらのことから、課題 2 として学校間差を解消していくこととなります。

(3) I C T 利活用に関する児童生徒への質問紙調査の結果となります。令和 6 年度から質問項目が変わっていますので、関係するところとして、令和 7 年度での結果を示させていただきました。小学校の方ですが、5 年生までに受けた授業で、P C ・ タブレットなどの I C T 機器をどの程度利用しましたか、では、《ほぼ毎日の割合》が 44. 2% でした。I C T 利活用を毎日活用しているか、では全国を下回りました。続いて、中学校も同様の質問事項です。中学校の方は、ほぼ毎日利用していると答えた生徒が 49. % でした。こちらも全国としては下回っているという状況です。それらの結果から、課題 3 として、I C T 機器の日常的な利活用をあげました。

(4) 家庭学習についてです。小学校の方ですが、授業時間以外に普段 1 日当たりどのくらい勉強していますかという質問に対して、村上市の児童は 1 時間以上の割合は 58. 2% 、 2 時間以上の割合は 15. 2% でした。1 時間以上学習すると答えた児童の割合は全国を上回りましたが、2 時間以上学習すると答えた児童の割合は全国を下回っています。続いて同様の質問事項をした中学生ですが、1 時間以上の割合が 53. 1% 、 2 時間以上 14. 9% ということで、こちらはどちらも全国を下回っています。以上の結果から、課題 4 として、家庭学習の時間と内容の改善をあげさせていただいております。

最後にこれらの結果を受けた今後の取組についてです。まず (1) 課題 1 の解決に向けてですが、無答率が高いという現状がありますので、学習課題に対して自ら考え、粘り強く取り組む児童生徒の姿を引き出すための働き掛けについて共通理解を図ること。2 点目として、児童生徒が集中して学習することができる学級づくりを推進すること。3 点目として、市や学校が学力実態を的確に把握し、それらに基づいた手立てを共有することで日々の授業改善につなげることとしています。また 4 点目として、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「村上市の授業づくり」を土台とした授業改善の取組を継続していきます。特に、単元や題材のまとめを通して育成すべき資質・能力を明確にした上で授業を構想・実践していくことを重視していくこととしています。5 点目として、基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれに基づいた活用にかける時間の確保を全校体制で推進していくこと。6 点目として、今年度は英語が対象教科ではなかったが、来年度

の全国学力調査で中学生英語がありますので、外国語の授業において、英語を介して教師や児童生徒とコミュニケーションをとることができるように学習活動の工夫を促したり、小・中学校の連携を促したりしていきたいと考えています。6点目として、国立教育政策研究所から出ている「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例」や、県から出ている「にいがた学びチャレンジ教材」を活用した授業改善を促していきたいと考えています。(2)の学校間差の解消の解決に向けては、市や各学校の学力実態を共有して、同じ中学校区の先生方で手立てを検討する場をしっかりと作っていきたいと考えています。また小・中学校間の授業参観や、それに基づいた情報交換を推進していきたいと思いますし、結果としては成果を出している学校もありますので、そうした学校の好事例を共有すること、また村上市の授業づくりにかかる今年度計画訪問をまわっていますが、授業実践の取り組み例を共有することを進めていきます。(3)ICTに関する課題解決に向けてですが、学習者用端末の入れ替えがありますので、計画的な入れ替えや、不具合への対処などICT機器を活用するための環境整備を推進していきたいと思っています。また端末を、学びを深めるためのツールとして活用できるように、授業での具体的な実践例を共有したり、先生方の活用スキルを向上できる場を設定したりしていくことがあります。(4)最後家庭学習の課題についての解決に向けてですが、小・中学校共に、児童生徒自身が自分で計画を立てて、家庭学習に取り組む事を促しています。具体的には、各学校でも取り組んでいますが、その日の家庭学習の計画を立てるプランニングタイムを確実に実施すること。家庭学習週間やメディアコントロールも学校での取組も継続していきます。家庭学習の各校での取組、好事例のようなものもありますので、これをしっかりと小・中学校間で共有することです。3点目としましては、例年2月に家庭学習実施状況調査というものを実施しています。子ども達に家庭学習時間や学習内容を問う調査ですが、そこで得られた成果と課題を明らかにして、それを元に各校における具体的な方策を設定してもらうこと。そしてそれを市で集約し、各校にフィードバックすることで家庭学習の習慣づけ等々を促していきたいと考えています。以上です。

遠藤教育長

委員の皆さんにだけお配りしている各校の具体的な資料の説明は、すべて終わってからお残りいただいて説明させていただきます。

遠藤教育長

ご質問等ございませんでしょうか。

大滝委員

7月31日の新潟日報に、全国学力・学習調査の記事が大きく掲載されています。全国的な傾向だと思いますが、自らの考えをまとめて、それを表現する力がものすごく不足しているということと、自ら課題を見つけてそれを解決するにはどうしたらよいかという自分で考える力が不足しているということでしたが、恐らく村上市の方でも同じような傾向になっているのではないかと思います。これをどんな風に課題解決していくかということが非常に難しいことだと思いますが、その辺の話合いはありますか。

高橋指導主事

おっしゃる通り、自分で考える力というのが、学力向上に対しても非常に大事になってくると思っています。それは村上市の結果を先ほどお話しした、無答率の割合や記述式の課題があるということからもうかがい知れると思います。毎日行われている日々の授業で、一人一人の児童生徒がその時間にある学習課題に対してしっかりと考えることを授業者である先生方がしっかりと働きかけて見取ることが大事なのかなと思います。そういう小さな積み重ねがやがて大きなものに繋がってくると思うので、今村上市の授業づくりで各学校を訪問する際の指導でもそのような話はしていますし、また今後の各校の学力向上担当を集めた研修会、情報交換会もありますので、そこでしっかりとこちらからアナウンスをしていくことも考えています。

大滝委員

ICT機器を使う割合、日常の利活用が多いにもかかわらず、なかなかテストの結果がこの中に表れていないということではないかと思います。そのICT機器の使い方のようなものも、再検討する必要があるのではないかと思いますが、いかがでしょうか。

高橋指導主事

今、授業の中で学習者用端末を使って自分が考えたことを入力させたり、端末を介してお互いの考えを見合ったり、資料を端末に送って授業の中で使っていくという雰囲気は高まりつつあると思います。一方で、デジタルドリルという端末に入っているアプリケーションで復習の問題を解く、その中にAI機能が搭載されていて、自分が取り組んだ結果に応じて苦手な問題が出てくるような機能が付いているドリルがある。そういうものの家庭学習における活用など、その辺についてはまだ各学校でばらつきがある状態なので、そういうところも周知を図りながらICT活用が学力向上に繋がるような方策を各学校に周知していく様にしたいと考えています。

大滝委員 分かりました。

遠藤教育長 市の教育施策の成果指標は、市が予算化しているN R T領域別学力検査。それで全学年対象で検証していますが、毎年4月に行われる全国学力・学習状況調査、これは全国で学力の評価指標として掲げられているものですので、それが毎年低いという状況は本当に残念です。特に中学校の数学は村上市が39ポイントと、全国から著しく落ちている。そのために新潟県も落ちていると思います。村上市が県の学力を落としているのではと言いたくなるくらい残念な状況なのを痛切に反省しております。15ページにもあります通り、学校別平均正答率、最大学校間差が32ポイント、30ポイントとはどういうことか、大変な状況の学校があるというのも現実です。指導主事はじめ、先生方も一律の指導力をつけられるようがんばってくれていると思いますが、現状がこういう状況です。ということで、また後程話題にさせていただけませんでしょうか。

遠藤教育長 よろしいでしょうか。  
(意見無し)

遠藤教育長 それでは、議第21号について承認されます方は挙手をお願いいたします。  
(全員挙手)  
ありがとうございました。議第21号は承認されました。

遠藤教育長 予定された議案について全て審議終了しましたが、その他ありますでしょうか。

遠藤教育長 次回定例会の予定をお願いします。

学校教育課長 10月の定例会ですが、10月28日火曜日 午後4時から朝日支所2階第1会議室にて開催したいと思います。

遠藤教育長 各委員に確認し、全員了承する。

遠藤教育長 以上をもちまして、令和7年村上市教育委員会9月定例会を終了し

ます。

午前 10 時 10 分閉会

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

教 育 長

会議録署名委員

会議録署名委員